



平成27年 6月25日

上場会社名 日本ピストンリング株式会社

代表者名 取締役社長 山本 彰

(コード番号 6461 東証第一部)

問合せ先 経理部長 越場 裕人

(TEL 048-856-5011)

(訂正)「平成27年3月期 決算短信[日本基準](連結)」の一部訂正の件

平成27年5月8日に発表しました「平成27年3月期 決算短信[日本基準](連結)」の記載内容について、一部訂正すべき箇所がございましたので、下記のとおり訂正いたします。なお、訂正箇所には下線を付して表示しています。

記

(訂正箇所)

I. 2ページ 1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

【訂正前】

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

(省略)

なお、セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

①自動車関連製品事業

自動車関連製品事業は、インドネシアにおける合弁解消の影響はあったものの、非日系自動車メーカーへの拡販が進んだことにより、売上高は447億24百万円(前年同期比0.8%増)となり、セグメント利益は19億90百万円(前年同期比25.8%増)となりました。

②船用・その他の製品事業

船用・その他の製品事業は、円高是正により受注状況が回復傾向にあることに加え、譲り受けた金属粉末射出成形品事業が寄与し、売上高は23億85百万円(前年同期比56.6%増)となったものの、セグメント損失は63百万円(前年同期はセグメント利益1億44百万円)となりました。

③その他

商品等の販売事業を含むその他における売上高は、45億47百万円(前年同期比0.4%増)となったものの、セグメント利益は19百万円(前年同期比41.9%減)となりました。

【訂正後】

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

(省略)

なお、セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

①自動車関連製品事業

自動車関連製品事業は、インドネシアにおける合弁解消の影響はあったものの、非日系自動車メーカーへの拡販が進んだことにより、売上高は447億24百万円(前年同期比0.8%増)となり、セグメント利益は20億76百万円(前年同期比31.2%増)となりました。

②船用・その他の製品事業

船用・その他の製品事業は、円高是正により受注状況が回復傾向にあることに加え、譲り受けた金属粉末射出成形品事業が寄与し、売上高は23億85百万円(前年同期比56.6%増)となったものの、セグメント損失は1億21百万円(前年同期はセグメント利益1億44百万円)となりました。

③その他

商品等の販売事業を含むその他における売上高は、45億47百万円(前年同期比0.4%増)となったものの、セグメント損失は7百万円(前年同期はセグメント利益32百万円)となりました。

II. 16ページ (セグメント情報等) 【セグメント情報】

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

【訂正前】

(セグメント情報等)

当連結会計年度(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財務諸表 計上額 (注3)
	自動車関連 製品事業	船用・その他の 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	44,724	2,385	47,110	4,547	51,657	—	51,657
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	44,724	2,385	47,110	4,547	51,657	—	51,657
セグメント利益	<u>1,990</u>	<u>△63</u>	<u>1,927</u>	<u>19</u>	1,946	—	1,946
セグメント資産	<u>59,290</u>	<u>1,817</u>	<u>61,108</u>	<u>3,609</u>	64,717	2,546	67,264
その他の項目							
減価償却費	<u>4,378</u>	<u>131</u>	4,509	69	4,579	—	4,579
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	<u>4,845</u>	<u>69</u>	4,915	50	4,965	—	4,965

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品等の販売事業を含んでおります。

2 調整額は下記のとおりであります。

セグメント資産の調整額2,546百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産2,546百万円が含まれております。

全社資産は主に報告セグメントに帰属しない当社の余運用資金(現預金)、長期投資資金(投資有価証券)であります。

3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

【訂正後】

(セグメント情報等)

当連結会計年度(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財務諸表 計上額 (注3)
	自動車関連 製品事業	船用・その他の 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	44,724	2,385	47,110	4,547	51,657	—	51,657
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	44,724	2,385	47,110	4,547	51,657	—	51,657
セグメント利益	<u>2,076</u>	<u>△121</u>	<u>1,954</u>	<u>△7</u>	1,946	—	1,946
セグメント資産	<u>58,949</u>	<u>2,194</u>	<u>61,143</u>	<u>3,574</u>	<u>64,717</u>	2,546	67,264
その他の項目							
減価償却費	<u>4,346</u>	<u>162</u>	4,509	69	4,579	—	4,579
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	<u>4,586</u>	<u>328</u>	4,915	50	4,965	—	4,965

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品等の販売事業を含んでおります。

2 調整額は下記のとおりであります。

セグメント資産の調整額2,546百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産2,546百万円が含まれております。

全社資産は主に報告セグメントに帰属しない当社の余資運用資金(現預金)、長期投資資金(投資有価証券)であります。

3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

以 上